

# 令和5年度 大谷戸小学校 「学校評価アンケート」 考察

## 【ねらい】

アンケートの結果を考察して保護者に報告するとともに、全職員で共通理解を図り今後の教育活動の参考としていく

## 【資料の概要】

大谷戸小学校の全校児童、保護者、教職員を対象に11月から12月にかけて、Google formにて10個の質問に「4(そう思う)」～「1(思わない)」で回答してもらった。

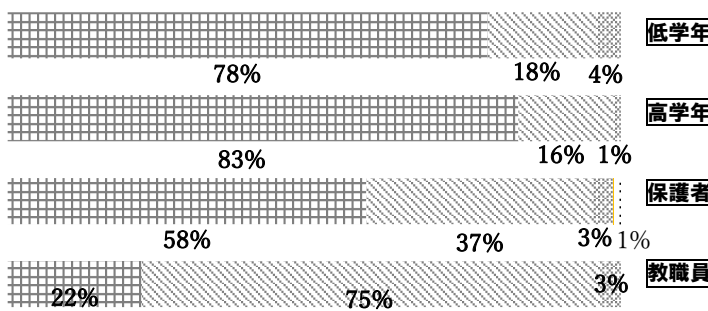
## 【資料の見方】

左側が今年度(2023年度)、右側が昨年度(2022年度)の集計結果。  
数値の単位は%で、未回答は含めていない。

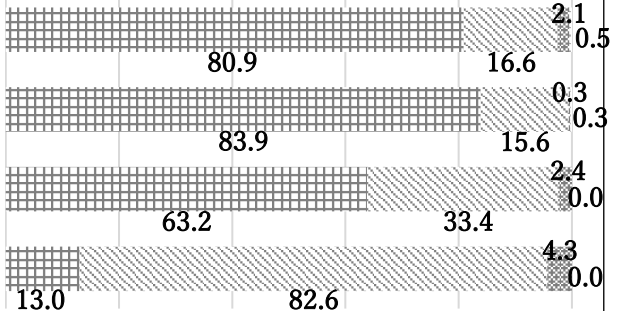


## ① 友だちとなかよくしていますか？

【2023年度】



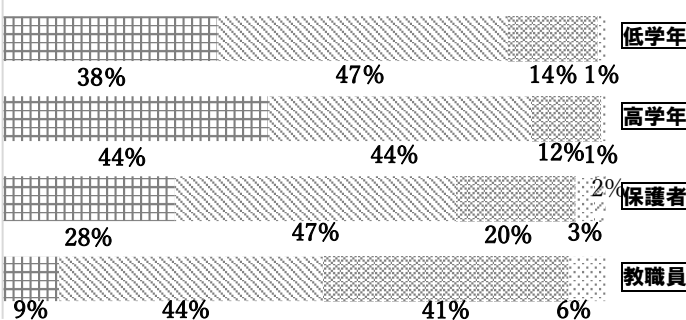
【2022年度】



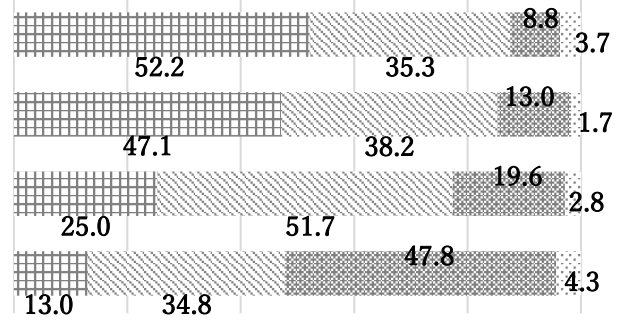
・子ども、保護者、教職員共に9割以上が肯定的な回答でした。2022年度はコロナ禍の制限のあった生活から、徐々にもとの生活へ戻りつつあることが要因で高い数値でしたが、2023年度は、「もっと何かをしたい」という思いもでてきたのではないかと考えられます。  
・昨年度と比べて、少し伸びが見られますが、否定的な回答もあります。また、教職員は「そう思う」が少し高くなり、否定的な意見も低くなりました。子どもたち同士の関わり方で不適切なところを指導したり、学校生活での普段の様子を注意深く見取ったりしていきたいと思えます。

## ② 自分からあいさつをしていますか？

【2023年度】



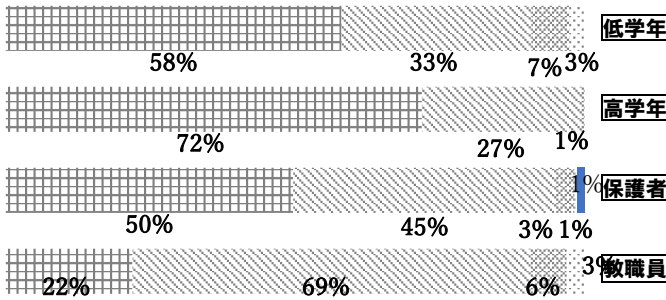
【2022年度】



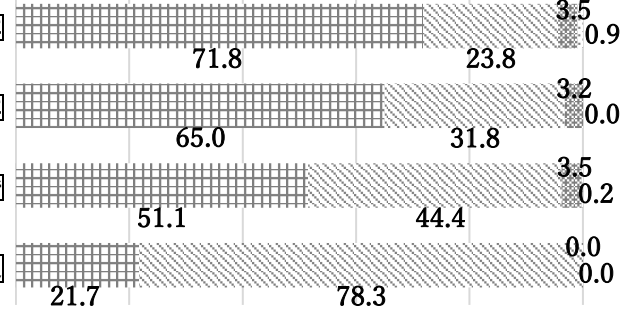
・低学年 85%、高学年 88%、保護者 75%、教職員 53%が肯定的な回答でした。  
・昨年度と比べて、高学年、教職員は伸びが見られますが、低学年、保護者は減少しています。保護者は若干の減少です。登校時間では、ふれあい委員会の子どもたちが一生懸命、挨拶運動をしています。委員会の子どもたちが挨拶をする前に元気よく「おはようございます」と言える子がほとんどですが、中には挨拶されたから返す子や、下を向いて通り過ぎる子もいます。引き続き、子どもたちと教職員と一緒に、挨拶の指導を継続していきたいと考えています。また、地域の民生委員の皆様にも月曜日に挨拶運動をしていただいています。地域の方の協力もいただきながら指導にあたります。

### ③ 自分やまわりの人を大切にしていますか？

【2023年度】



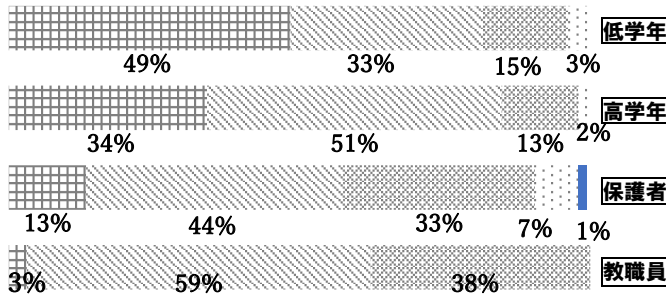
【2022年度】



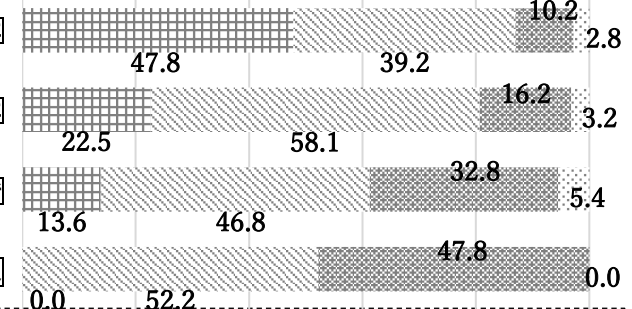
- ・昨年度と比べ、保護者、教職員には大きな差は感じられません。教職員は肯定的な回答をしていますが、「そう思う」の割合は少ないです。「あまり思わない」「思わない」の子どもたちが少数ですが、いることも心配です。
- ・どの教職員も、子どもたちの様子をよく見て、変わった様子を探知し（発見できるソナーをもつ）、子どもたちの指導にあたっていきたいと思います。また、これまでと同様に、児童目標となっている「ともに生きる」の合言葉を繰り返し伝えるようにしていきたいと考えています。

### ④ 自分から、見通しをもってものごとに取り組んでいますか？

【2023年度】



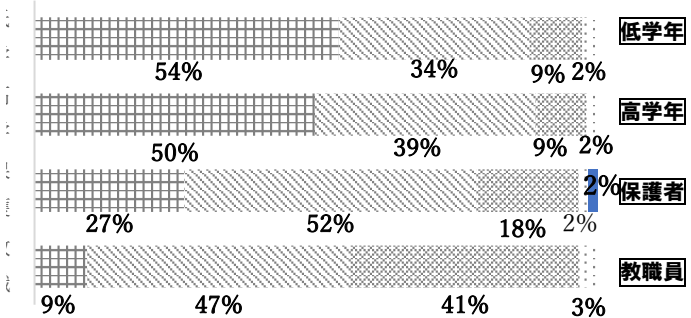
【2022年度】



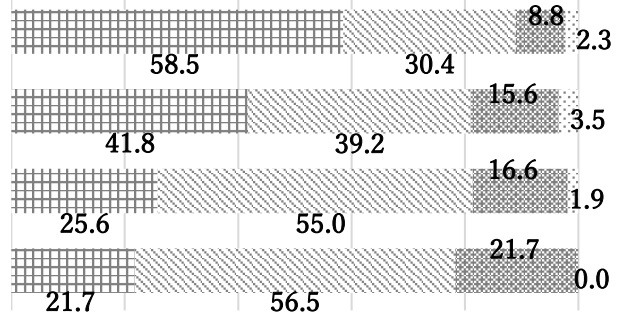
- ・低学年 82%、高学年 85%、保護者 57%、教職員 62%が肯定的な回答でした。低学年、保護者は、昨年度と比べて下がっていますが、高学年、教職員は昨年度と比べて伸びています。1日の流れに見通しをもったり、行事で本番当日までにどのように進めるのか見通しをもったり、あるいは、学習で単元の見通しをもって活動を進めたりすることなど、教職員、子どもたちともに意識して取り組んでいます。アンケート結果は、子どもたちなりに頑張っていることの表れだと考えられます。
- ・子どもたちと保護者、教職員の差が大きいのは、生活の面、全てで考えると、子どもたち自らが見通して活動することが少ないと捉えているようです。子どもたち自ら活動することを価値付けしていくようにしていますが、今以上に子どもたちが見通しをもって活動する経験を設けていきたいと考えています。

### ⑤ 学習したことを生活に生かそうとしていますか？

【2023年度】



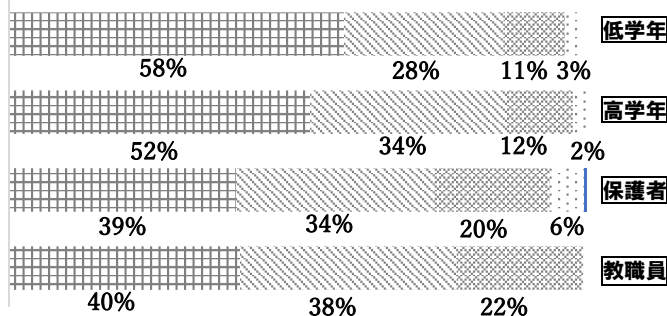
【2022年度】



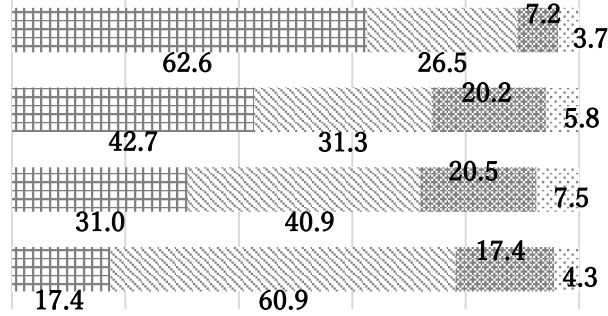
- ・昨年度と比べて肯定的な回答は、高学年が伸びましたが教職員は20%下がりました。学習が生活に結び付けて考えられるようにこれからも学習活動を工夫していきたいです。
- ・学習指導要領の改訂で、生活に生かそうとする態度を育てることがねらいの一つになっています。ここで言う生活は、学校生活と日常生活を合わせたものと言われています。子どもたちは、授業の中で前に習ったことを生かして解決にあたることはできるようになってきています。さらに、体験的な活動を増やすなど、学習したことを日常生活に生かせるような仕掛けを取り入れて、授業を進めていきたいと考えています。

⑥ 自分が気になることを新聞や本、インターネットを使って調べていますか？

【2023年度】



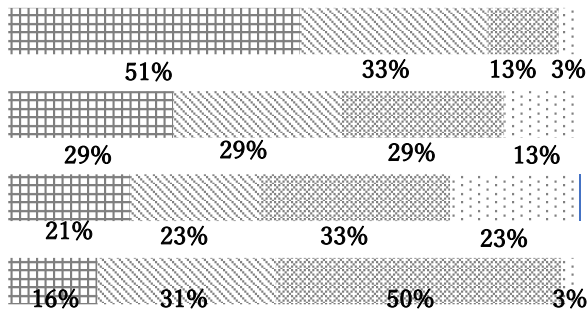
【2022年度】



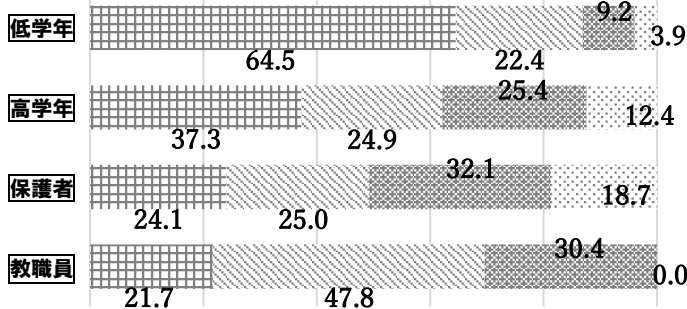
・肯定的な回答は昨年度とほとんど変わりはありません。  
 ・GIGA 端末が導入されて、子どもたちはだいたい操作に慣れてきました。わからないことがあれば、GIGA 端末を使ってすぐに調べる様子を授業でも確認できています。それに対し、新聞や本を使って調べる機会は減少しているものと考えられます。質問に「新聞や本、インターネット」とあるため、肯定的な回答が減少したものと考えられます。それぞれ調べる方法には、一長一短があるので、子どもたちが適切な方法を選択できる力を身に付けられるように指導していきたいと思ひます。

⑦ 進んで読書をしていますか？

【2023年度】



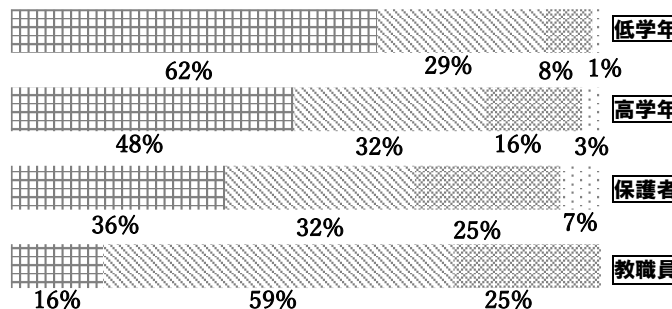
【2022年度】



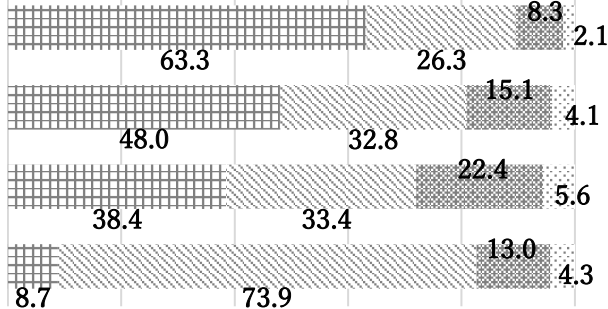
・低学年、高学年、保護者、教職員、すべての肯定的な回答が、昨年度と比べて下がっています。休み時間の遊びがコロナ禍での生活よりも多様になっているので、読書をする時間が減ったと考えられます。  
 ・低学年は、国語や図書の時間で読書をするを楽しんでいる様子が見受けられます。高学年は、様々な活動があり、読書の時間の確保が難しいためと考えられます。休み時間も低学年に比べて高学年は、図書室を利用する子どもが少ないです。学校では、朝読書の時間の確保、図書館司書との連携、図書ボランティアによる読み聞かせや整備などの取組を継続していきたいと思ひます。

⑧ 進んで体を動かして健康的な生活をしていますか？

【2023年度】



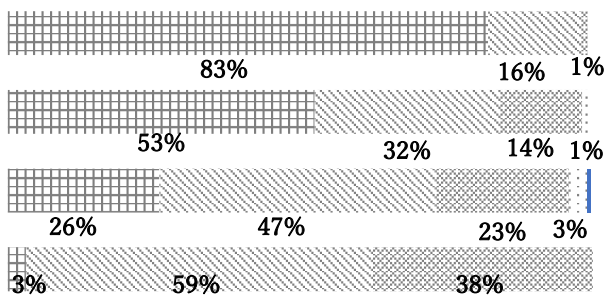
【2022年度】



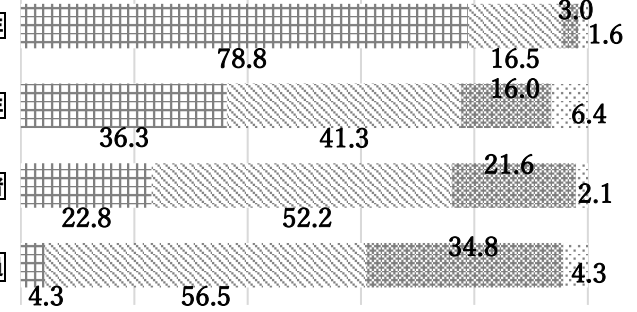
・昨年度と比べて、教職員の肯定的な回答が下がっています。  
 ・休み時間の校庭使用が、コロナ禍の影響で低・高と2サイクルで回すように変えましたが、体を動かす機会が少ないと感じられます。校庭で遊ぶ日は、外に出て遊ぶ子どもたちが多いですが、中には、教室でGIGA 端末を使って遊んでいる子どもたちもいます。また、運動委員会の子どもたちが、きらきらタイムの活動を考え、子どもたちが自主的に外で遊ぶ機会も作りました。放課後の校庭プロジェクトが1月より開始されましたので、今後、さらに子どもたちが外で体を動かす機会が増えていくと思ひます。

⑨ 日ごろから、防犯・防災意識をもち、安全に気を配って生活していますか？

【2023年度】



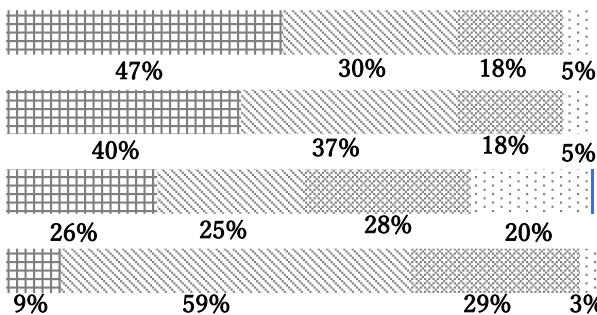
【2022年度】



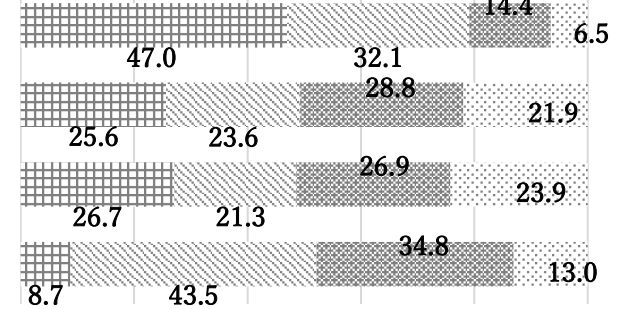
・昨年度と同様に、大人（保護者・教職員）と低学年との意識に差があることがわかります。  
 ・子どもたちは、安全に気を配って生活していると思っているようですが、保護者や教職員は、もっと意識をもってほしいという思いがあるので、このような差になっていると考えられます。地震や火災が起きたときの避難訓練だけでなく、水害が起きたときや不審者が侵入したときの避難訓練、予告なしの避難訓練も行ってきました。今後も継続することで、子どもたちが様々な状況の防犯・防災意識を高められるようにしていきたいと思ひます。

⑩ 地域での行事やスポーツ活動などに進んで参加していますか？

【2023年度】



【2022年度】



・昨年度より高学年、保護者、教職員の肯定的な回答が、若干伸びています。地域のスポーツ活動が、以前のように活発に行われているためと考えられます。  
 ・コロナウイルス感染症の影響で、地域行事が中止、自粛などされていましたが、今年度は開催されることができるようになったものが多くありました。夏祭りなども参加している子どもが多くいたことから大人の肯定的な意見が上がったのだと思ひます。

【全体を通して】

どの設問も子どもたちは肯定的な回答が高い傾向にありました。子どもたちなりに自分で考え活動し、保護者の方に温かく見守ってもらえている様子がわかります。「ともに生きる」の合言葉のもと、どの友だちとも仲良く、助け合って学校生活を送れるように今後も支援をしていきたいと思ひます。GIGA 端末の導入により、身近にパソコンがあり、わからないことをすぐに調べたり、スライドにまとめて発表したり、子どもたちの活動が広がり、力をつけてきたことを実感できます。GIGA 端末の使い方をさらに発展させて子どもたちの力を高めていきたいと思ひます。

学校、家庭、地域が手を取り合って、「知・徳・体」の子どもたちの健やかな成長を支えられるように努力をしていきます。